

浜中町 小・中・高校 系統的な学習の提案

(アサザ基金 飯島)

1～2年 身近な自然や生き物に親しむ。生き物や自然の不思議さ、生き物の身体
の作りや暮らしに興味を持つ。身近にいる生き物や草花をよく観察することで新
たな知識が得られることを知る。よく見る、触れてみる。

3年 町内の様々な自然や生き物と親しむ。繋がりの存在と大切さに気づく。 生
き物の目になって生き物や地域を支えるありがたいの繋がりがあつたことを知る。
広大かつ多様な生息地を必要とするシマフクロウをメタファにして、町全体が繋
がっている海と山、森、湿原、川、牧場等を結ぶありがたいの繋がりを感ずる。

4年 霧多布湿原に親しむ。その自然環境の特色を知り課題を抽出する。 町の大
きな繋がりの中で湿地を捉える。地域づくりや産業の中での湿原の位置づけを考
える。霧多布湿原の成り立ちと津波、昔の津波を教えてくれる湿地。地域の特性
や防災学習。

5年 自然を生かした産業 漁業、海の豊かさを支える森との繋がりを体験。
ありがたいの繋がりが支える産業。 ありがたいの繋がりを大切にする地域が豊
かであることを知る。地域の繋がりをお宝として、それらを生かした暮らしを考
える。

6年 海森湿原の繋がりの大切さを振り返り伝え増やす方法を考え提案する。
町全体を結ぶありがたいの繋がりの大切さを人々に伝えるモノづくりの提案。
これまでの学習を生かし自分たちでありがたいの繋がりを作る方法（地域ブラン
ド）を考える。1年生から学んできた様々な学習を振り返り、生徒一人一人が系
統的な学びとして捉え直し、提案づくりの資源として生かす。

中学1年 地域資源や地域特性を生かした産業を考える。 地域が抱える問題をよ
り広く深く調べ、それらの問題解決に繋がる価値創造的な提案を考える。地域産
業や町づくりへの提案づくり。

2年 地域資源を生かした仕事 1年生で考えた提案を踏まえて地域の産業や町づ
くりに関わる職場体験を行う。自分の生き方や将来展望を持って仕事とは何か、
生きがいとは何か、地域とは何かを考える機会とする。地域の繋がりを生かした
生き方とは何か。

3年 浜中町の魅力を世界に発信する。 小中9年間で学んできた学習内容を系統的

な学びとして振り返り、自らの成長と重ね合わせ、それら一人一人の学びの成果を表現発信する。系統的な学びを生徒一人一人の自信や誇りに繋げる。浜中町を知らない他地域の人達に、郷土の魅力をどう伝えたらいいか。修学旅行。

高校 浜中学 地域特性を生かした起業や生き方。 地域で生きることを意味を見出す。具体的な人や地域に積極的に働きかける。実践を通し社会とのコミュニケーション能力を身につける。地域特性をよく理解し、地域の潜在的な可能性を信じ、それらを生かした生き方を展望する。ビジョンを持って生きる。

霧多布小3年 2019年度学習案 (アサザ基金 飯島)

4月生き物とお話しする方法 身近に広がる未知の世界への好奇心 自然や自分達を支えるありがとうの繋がりがあることを知る。6月湿原 森 霧多布小に繋がる川と森 7月 海の観察、課題の発見 9月 振り返り 森との繋がり大切さ 川の上流にある茶内小との交流 11月 海森のありがとうの繋がりを作る提案 11月下旬 発表会 12月～知識の深掘り 繋がりを通してものを理解する。